「授業づくりシート」の活用に関して・・・・資料

研修部

+単元名		第〇次　　〇時
単元目標	・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇することができる。　【関心・意欲・態度】 ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇をする。　【思考・判断・表現】 ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇ができる。　【技能】 ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇を知る。がわかる。　【知識・理解】	

単元内容によっては、四観点に合わせると重複したり、該当しなかったりすることもあるが、四観点で目標を考えることで、どのような資質・能力を育むかが明確になる。

〇月〇日（〇）　〇校時

授業づくりのプロセス

sv1－H30 年度―研修部（齊藤）―Ｈ３０校内研究（授業づくりシート）様式・様式続

学習グループの課題や児童生徒の実態について情報交換 → 授業の構想・単元の構想 → **授業前（単元・授業前の計画）** → **授業中（単元中の各授業）** → **授業後（単元・授業後の振り返り）** → 次の授業へ

授業前（単元・授業前の計画）

	実態・見取り	めあて・予測	支援
	【今回の授業】に関係する児童生徒の経験・技術・興味 内面の推察【要求、既有知識、自己意識、自己効力感など】からの見取り	【今回の授業】で育てたいこと 【今回の授業】で伝えたいこと 四観点（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解） 予想される姿、発言	授業で取り扱う活動 効果的と考えられる支援 支援の意図 環境設定

授業中（単元中の各授業）

活動の様子・発言	振り返り
内面の推察からの見取り 対話 発言 行動	児童・生徒の自己評価 児童・生徒間の相互評価 教師からの他者評価

授業後（単元・授業後の振り返り）

評価	今後
目標に対する評価 支援に対する評価 内面の読み取りに対する評価 予測との比較　　など	【今後の授業】への申し送り 議題 アイデア　　など

全体			育てたいこと 伝えたいこと	・		・	・	目標について	
			本時の目標	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 ・技能 ・知識・理解				予想とのずれなど	
			評価基準					支援	
			予想される姿・発言	・				その他	・
A（年）	経験・興味・既有知識・技能		育てたいこと 伝えたいこと	・				経験・興味・既有知識・技能	・
	要求		本時の目標	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 ・技能 ・知識・理解				要求	・
	自己意識		評価基準					自己意識	
	自己効力感		予想される姿・発言	・				自己効力感	
	その他	・	その他	・				その他	

学習グループ（集団）における今回の授業における実態を協議する。どんな経験や興味があって、何ができて何ができてないのか、何が確実にできるのか、やってみたいと思うことは何か、という観点で協議する。

今回の授業を通して、特につけさせたい力、教師の願い。

四観点の中の本時に関すること

育てたいこと、伝えたいことに対して、評価できる具体的な行動、様子

学習グループ（集団）

現在持ちえている知識

やってみたいこと

個別目標

個人に関すること

自分は何ができて、何ができていないか

自分には、このことは確かにできるという根拠のある自信

具体的な環境設定や支援内容を挙げる。

グループで協議する時や、指導案として示す時は、A3 に拡大印刷して活用する。

めあて・予測に関する授業中の具体的な動き（発言・対話・行動）

予想される姿と本時の様子との比較における行動に関すること

児童生徒自身（個人）や児童同士、生徒同士の様子に推察される内面の変容による評価。教師からの働きかけについての評価。

本時の目標に対して、どんなところができて、どんなところができなかったかについて、評価する。

支援の効果の評価

実態・見取り段階と比較して、評価される変容（思い・行動）について

次の授業の授業改善に、つながること